

## 2. 快適に移動できる広域圏づくり（交通環境）

### ■現況と課題■

本圏域の交通環境は、JR水戸線、関東鉄道常総線、真岡鐵道による軌道交通及び南北方向の新4号国道、国道294号、東西方向の国道50号を軸とする道路網により骨格が形成されており、さらに北関東自動車道及び筑西幹線道路等の整備により、広域を結ぶ交通軸の一層の強化が図られることとなります。

今後はこうした広域交通の整備効果を各地域に波及させていくために、関係3市の整備計画に基づきながら、周辺都市や主要施設、拠点などをネットワークする道路網を整備充実させていくとともに、課題となっている関係3市の生活道路の整等を着実に進めていく必要があります。

一方、圏域住民の身近な交通手段として、各鉄道の輸送サービスの向上や路線バスの維持・充実が高齢化社会における大きな課題となっており、関係3市で取り組んでいる公共交通システムの効果的連携と活用を促しながら、誰もが快適に目的地に移動できる交通手段や安心して歩ける交通環境の整備を推進していく必要があります。

### ■意向調査では■

高齢者をはじめ広域圏を誰もが快適に移動できる公共交通の仕組みづくりが強く求められています。

### ■基本目標■

○関係3市の公共交通システム、鉄道・タクシー等企業の連携のもと、圏域住民の生活利便や快適な施設利用を支える公共交通サービスの充実に努めます。

### 関係3市の公共交通システムの整備状況（平成20年1月現在）

区分	システム	実施状況
結城市	巡回バス	平成16年5月より8ルート、無料運行
筑西市	デマンドタクシー	平成19年10月より運行
桜川市	デマンドタクシー	平成20年4月より運行予定

## ■施策の方向■

## ○かいてき公共交通ネットワークの形成

－ 快適な移動手段となる広域交通について検討していきます －

1. 関係3市の公共交通システムや公共交通機関との相互連携を強化し、誰もが快適に移動できる広域の公共交通のあり方を検討していきます。

## ■施策の内容■

・ 鉄道、バス及びタクシー等の利用情報の提供、乗り継ぎに関する研究、検討の支援など

2. 自転車や歩行者が安全に歩ける道づくり、バリアフリー化の促進など、車利用だけにたよらない地域づくりについて、住民と共に検討、提案していきます。

## ■施策の内容■

・ 住民による危険箇所の点検・改善の提案や研究活動の支援など

## 巡回バス（結城市）



## デマンドタクシー「のり愛くん」（筑西市）



## 第3章

# 自然と共生した、魅力と一体感ある広域圏づくり

### 1. 自然・歴史・文化を守り育む、誇れる広域圏づくり（地域資源）

#### ■現況と課題■

本圏域は、自然環境、歴史・伝統文化、歴史的町並み・田園景観など共通の豊かな地域資源を有しています。これらは地域における様々な営みや豊かな圏域の都市空間の基調となるものであり、こうした環境をしっかりと守り、住民と共にみがきをかけていくことが、筑西広域市町村圏の誇りや一体感を醸成し、魅力ある共生の空間づくりを進めていく上での基本となります。

本圏域では、関係3市による町並み・景観保全のための取り組みや、住民が主体的に取り組む景観づくり、歴史的資源や文化資源を活かしたまちづくりが積極的に展開されており、様々な地域イベントの実施等とあわせて魅力ある観光資源としての活用も検討、推進されています。

今後は、こうした関係3市の資源やその保全、活用に対する取り組みを、広域の視点からも支援し、様々な情報の収集、提供や新たな資源の発掘など、広域圏一体の魅力ある資源として広く発信していく必要があります。

#### ■意向調査では■

自然や緑の豊かさ、歴史的町並みや田園景観は高い評価となっており、圏域の誇りにつながる共通の地域資源として意識されています。

#### ■基本目標■

○圏域の自然や歴史・文化等の資源を活かした魅力の再発見と一体感ある景観の保全・創造に向けて、広域的な住民活動を支援していきます。

#### 地域資源（関係3市の歴史的資源等）

結城市		結城城址公園、慈眼院結城家御廟、山川不動尊、水野忠邦の墓、玉日姫の墓、源翁和尚の墓、東持寺、健田須賀神社、結城廃寺跡、城の内館跡
筑西市	下館地区	伊佐城跡、久下田城跡、板谷波山生家、羽黒神社、中館観音寺、雷神社五所神社、葦間山古墳、下館城址
	関城地区	関城跡、大宝城跡、船玉古墳、千妙寺
	明野地区	海老ヶ島城址、台畑古墳、石造五輪塔、雲井宮郷造神社
	協和地区	小栗内外大神宮、天満宮、新治廃寺跡、新治郡衙跡
桜川市	岩瀬地区	名勝櫻川、上野沼、月山寺、富谷観音、磯部神社、堀の内古窯群跡、上野原瓦窯群跡、鴨鳥五所神社
	真壁地区	真壁城跡、天目山伝正寺、最勝王寺、椎尾山薬王院、加波山神社、八柱神社、鹿島神社、真壁城主累代の墓、筑紫湖
	大和地区	雨引山楽法寺、将門御墓、后神社、大国玉神社、祥光寺、真像寺

資料：結城市、筑西市、桜川市

## ■施策の方向■

## ○誇り・はっけんネットワークの形成

－ 地域の自然・歴史・文化を大切にし、  
美しい景観と環境づくりを推進します －

1. 住民との協力・協働のもと、自然、歴史、産業、文化及び芸術など、様々な分野における研究、交流機会の充実やイベントの開催などをおして、広域圏の新たな魅力、地域資源の発見・発掘に努め、広く情報を発信していきます。

## ■施策の内容■

・筑西広域イベント、組合施設（筑西遊湯館、県西総合公園など）におけるイベントの連携、充実など

2. 関係3市で取り組む景観づくり・まちづくり事業と連携しつつ、住民が取り組む活動を支援し、筑西広域市町村圏として誇れる、一体感ある景観づくりを推進します。

## ■施策の内容■

・住民が取り組む景観保全活動や、まちづくり活動などの実施支援など

## 歴史的町並み



・桜川市真壁町



・結城市結城

## 2. みんなで取り組む、美しい広域圏づくり（環境保全）

### ■現況と課題■

鬼怒川、小貝川、桜川に代表される河川の水辺や田園環境、国定公園や自然公園に指定される森林などの豊かな自然の恵みのもとで発展してきた本圏域のすばらしい環境と景観を守り、次代に継承していくことが、筑西広域市町村圏に暮らす住民の大切な使命であり、誇りと愛着をもって住み続けることのできるまちづくりを推進する大きな力となっていきます。

近年、環境問題に対する関心・危機感はますます高まっており、本圏域においても環境保全や美化活動、自然・環境学習の推進など、学校や地域における住民主体の取り組みが進められています。今後は、こうした活動を広域的視点からも支援し、みんなで取り組むことにより、一体感ある景観の保全・創造など、共生の環境づくりにつなげていく必要があります。

また、循環型社会の実現をめざし、環境センターの事業に関する住民の一層の理解と協力のもと、ごみの減量化やリサイクルを推進していく必要があります。

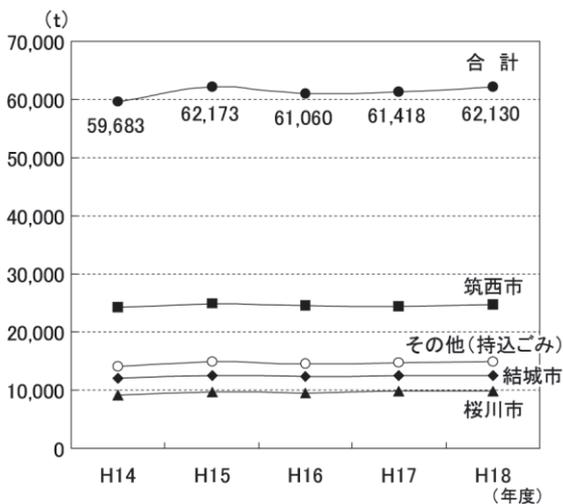
### ■意向調査では■

ごみ・し尿処理やリサイクルの評価は高くなっていますが、公害防止、自然環境の維持・保全に向けたさらなる取り組みが求められています。

### ■基本目標■

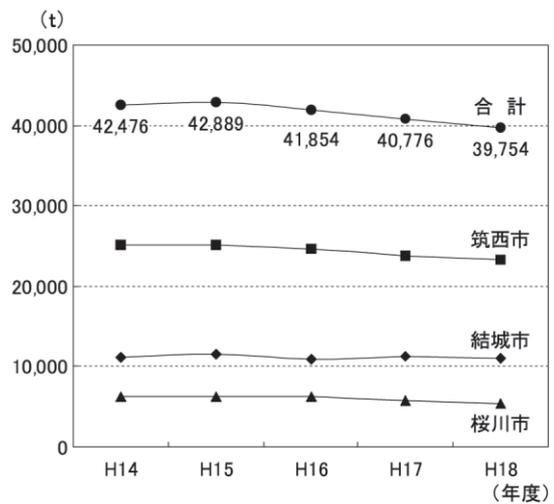
○本圏域の誇る美しい田園環境や河川、森林の保全を広域的視点から支援するとともに、環境美化、リサイクルの推進など住民と共に進める環境保全活動に取り組んでいきます。

ごみ処理状況



資料：環境センター

し尿処理状況



資料：環境センター

## ■施策の方向■

## ○かんきょう美化ネットワークの形成

- － 住民・学校との連携など、  
みんなで取り組む環境保全事業を支援します －

1. 筑西広域市町村圏の自然や環境保全、ごみの減量化、リサイクル、省エネルギーなど循環型社会の形成に関する学習機会の充実、情報発信などをとおして、住民の環境意識の啓発に努めます。

## ■施策の内容■

- ・環境センター等の見学や研修事業の充実、地域で取り組む自然保護等活動の紹介、情報発信など

2. 関係3市や自治会、学校等で取り組む環境美化やクリーン運動を広く紹介するとともに、美化イベントの企画・運営支援など、関係3市や住民と協働して広域圏の環境美化に取り組んでいきます。

## ■施策の内容■

- ・住民による美化運動の情報発信、協働イベント等の企画、検討など

3. 関係3市との連携・協力に基づき、ごみの減量化、リサイクルの一層の推進を図るとともに、焼却施設の適正な維持管理、焼却灰溶融スラグの有効利用を推進します。

## ■施策の内容■

- ・リサイクル情報の発信、3R運動\*の推進支援、焼却灰の有効利用及び資源化の研究推進など

※3R運動 Reduce（リデュース：廃棄物の発生抑制）、  
Reuse（リユース：再使用）、  
Recycle（リサイクル：再資源化）を目標とする運動

4. きぬ聖苑のサービス及び利便性の向上に努めるとともに、環境センター、筑西遊湯館等施設の集約する環境を踏まえ、緑化推進等一体的な環境整備と維持に努めます。

## ■施策の内容■

- ・敷地内緑化等の推進、案内板・サインの整備など

## 第4章

## 地域を学び、知り、共に支える広域圏づくり

## 1. 学び・ふれあう、心豊かな広域圏づくり（地域学習）

## ■現況と課題■

少子高齢化社会の伸展、余暇時間の増大、価値観の多様化、ライフスタイルの変化に伴い、自己実現やスキルアップなど圏域住民の生涯学習に対するニーズは多様化を伴いながら、日々高まっています。このようななか、誰もが、いつでも、自主的に学ぶことのできる環境づくりや、学習の成果を地域や社会の中で活かして行くことのできる機会や場を創出していくことが、ますます重要になっています。

本圏域には多様な教育・文化施設が整備されており、住民主体の様々な学習、文化活動も活発に行われています。また、各地域では、まちづくり・ふるさとづくりを目指すコミュニティ活動や自然とのふれあいをとおして、地域を学ぶ活動への住民参加も積極的に進められています。

今後は、各学習施設の効果的な連携やプログラムの充実、既存施設を活用した学習拠点づくりなどをより広域的に支援し、地域を学び、知り、愛する健康的で文化的環境を高めていく必要があります。

## ■意向調査では■

生涯学習やスポーツ施設、学校等施設の充実は誰もが望むことであり、施設間の連携や相互利用の促進など、広域でのさらなる取り組みが期待されます。

## ■基本目標■

○地域を学び、知り、新たな魅力や文化を創造、発信する機会の増進、既存施設を活用した地域学習の拠点づくりに関係3市と共に取り組んでいきます。



## ■施策の方向■

## ○ 学び・ふれあいネットワークの形成

－ 地域学習、自然体験の機会や学習の環境づくりを進めます －

1. 豊かな自然や歴史的資源、地場産業や伝統技術の継承など、本圏域の歴史、文化及び風土を体感できる体験学習プログラムを整備するとともに、既存施設を核とした地域学習の機会と場づくり、各種学習情報の提供を推進します。

## ■施策の内容■

・ 歴史、自然及び芸術体験学習等の情報の提供、住民主体の芸術・文化活動の紹介、情報発信など

2. 自然豊かな環境を活かした本圏域独自の学びとふれあい環境の形成に向けて、筑西地域職業訓練センターをはじめ関係3市の学習施設の相互連携や情報提供を図るとともに、住民ニーズに対応した学習プログラムの提供に努めます。

## ■施策の内容■

・ 地場産業体験講座、宿泊学習、カルチャー講座等筑西地域職業訓練センターの教科、プログラムの充実など

## 研修講座（筑西地域職業訓練センター）



## 2. 広域圏を愛し、支える人づくり（人材育成）

### ■現況と課題■

誰もがその能力を十分に発揮しながらコミュニティ活動、文化活動、新たな仕事づくりなどに参加し、社会貢献していくことが、住民主体の協働のまちづくりを進めていく上で重要であり、こうした意欲ある人材や団体、それを先導するリーダーを育成し、活躍の場を広げていくことが元気な広域圏づくりにつながっていきます。

本圏域では、これまで「筑西ふるさと塾」（平成3年度～平成9年度）の開設やその卒業生による広域イベント実行委員会の組織などをおして、まちづくりを支える人材の育成に努めてきました。また、関係3市においても国際交流や地域間交流と連携した人材育成事業や人材バンクの整備などが積極的に進められています。

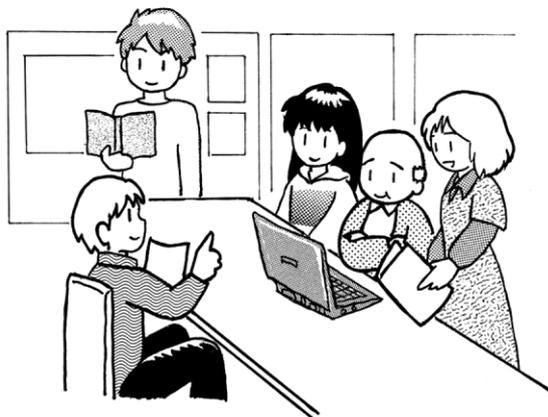
今後は、様々なイベントや交流事業への住民参加の機会、活躍の場づくりのより広域的な展開に努めるなど、関係3市の人材育成の取り組みを広域的ネットワークを活用して支援し、さらなる交流の拡大や筑西広域市町村圏のふるさとづくり活動などをおして、広域圏を担う人材・組織の育成を推進していく必要があります。

### ■意向調査では■

イベントの開催や地域間交流の評価はあまり高くなく、こうした機会の周知とさらなる充実を図りながら圏域を愛する人づくりにつなげていくことが期待されます。

### ■基本目標■

○各市・各団体の人材育成システムを束ね、支援する仕組みづくりや人材育成の拠点づくりを研究・検討するとともに、その情報を広く発信していきます。



## ■施策の方向■

## ○ちくせい人づくりネットワークの形成

－ 様々な交流活動を促し、住民参加と人材育成を進めます －

1. 子どもから高齢者まで、ふるさとづくり、まちづくりについて学びあい高めあう機会と場の充実、既存施設の連携と相互利用による学習の拠点づくりなどをとおして、広域圏を担う人材・団体の育成に努めます。

## ■施策の内容■

・住民主体のまちづくり活動の開催支援、まちづくりに関するイベントや学習会への住民参加の促進など

2. 関係3市の人材バンク、ボランティア等の登録情報の提供など、様々な人材・団体の紹介、活動状況について発信し、その能力を広くまちづくりに活かせる機会や活躍の場づくりに努めます。

## ■施策の内容■

・関係市の人材バンク情報の連携・発信、学習講座や勉強会等への人材の紹介など

## 公園ボランティアの活動風景(県西総合公園)



・クラブハウス  
(県西総合公園)



## 第5章

## 地域と共に歩む筑西広域市町村圏事務組合づくり

## 1. 愛される元気な筑西広域市町村圏事務組合づくり（組合運営）

## ■現況と課題■

厳しい地方財政を反映し、本組合の運営状況は一層厳しさを増しています。今後は、広域連携による住民サービスの維持・向上を基本としながら、事務事業の効率化、重点化、相乗効果のあるソフト施策の展開などに積極的に取り組み、組合の健全な維持、運営に努めていく必要があります。

一方、本組合や組合の事務事業に対する認知度はあまり高くなく、今後さらに積極的なPR及び情報提供に努めていく必要があります。

今後は、地域に支えられ、愛される事務組合づくりに向けて、各施設の利用促進や広域イベントの活性化、広報活動の一層の充実など、多様な住民参画の機会と場を提供し、効果的に活用しながら、住民への組合事業の認知と理解を促していく必要があります。

## ■意向調査では■

本組合やその事業の認知度はあまり高くありませんが、各施設などの認知・利用度は高いことから、PRや情報の発信を進め、組合の理解促進につなげていくことが期待されます。

## ■基本目標■

○組合運営体制の合理化、施策の重点化を主眼とした行財政改革を推し進めるとともに、財源の確保と効率的な運用に努めます。また、本組合が広く理解され、協力を得るため、広域イベントの充実や広報活動の充実などにより組合情報の発信を推進します。

## 広報紙「ちくせい」



## ■施策の方向■

## ○ はつらつ事務組合づくりの推進

－ 広域圏づくりを支える組織として体制の強化を図るとともに、住民と共に歩む元気な組合事業を推進します －

1. 広域化のさらなる進展、時代のニーズに対応して本組合の施設や組織の一層の効率化と発展的改編に努めます。

## ■施策の内容■

・ 組合施設及び組織の改編の検討、推進など

2. 研修プログラムの充実、関係3市との人事交流の促進など、職員の能力の一層の強化を図るとともに、広い視野を持ち、元気な組合づくりを担う職員の育成に努めます。

## ■施策の内容■

・ 職員研修プログラムの充実、関係3市等との人事交流の促進、職員提案制度等の充実など

3. 住民サービスの維持・向上を基本に、事務事業の効率化、重点化に積極的に取り組み、財源の確保と適切な運用に努めます。また、本組合の各施設の適切な維持管理と健全運営を継続するため、行財政改革を推進します。

## ■施策の内容■

・ 事務事業の効率化、重点化の推進、施設の維持管理と健全運営の推進、財源確保のための検討・研究の推進など

4. 本組合の事業及び施設の情報提供、PRを積極的に推進するとともに、広域イベント等組合事業への住民の協力と参加を促し、本組合の事務事業への理解を深めます。また、住民の意向を積極的に取り入れながら元気な筑西広域市町村圏事務組合づくりに取り組んでいきます。

## ■施策の内容■

・ ホームページ及び広報紙における情報発信の充実、各種ソフト事業の充実と住民参加の促進並びに住民の意向を事務事業への反映させる仕組みづくりなど

## 2. 時代に応える施設運営の推進（施設の健全運営）

### ■現況と課題■

本組合は、昭和45年の設立以来、地方自治法による特別地方公共団体として広域消防、老人福祉センター、廃棄物処理及びし尿処理施設、火葬場、筑西地域職業訓練センター、県西総合公園等施設の管理・運営を行ってきました。また、平成15年には環境センターの余熱利用施設として筑西遊湯館が開館され、それぞれの役割のもと、広域住民の日常の利便を支える施設、安らぎ・ふれあいの拠点等として親しまれています。一方、これらの施設の中には、利用率の低下や経年による老朽化が顕著となっている部分もあり、厳しさを増す組合財政情勢下における今後の維持・管理や運営のあり方について改めて検証、確認を行うなど、行財政改革を推進するための取り組みが必要となっています。

今後は、各施設の健全運営、持続的なサービスの提供を基本としながらも、少子高齢化、ライフスタイルの変化など時代のニーズに対応し、担うべき機能の見直し、強化等を視野に入れながら、住民に愛され、親しまれる施設運営を推進していく必要があります。

### 特別救助隊訓練風景（筑西消防署訓練塔）



■施設別の方針■

(1) 筑西遊湯館

○施設・機器の適切な維持管理に努めるとともに、利用者のニーズに対応し、トレーニングや健康づくりプログラムの充実など、広域圏の健康づくり拠点としてのソフトの充実を図り、広く住民利用を促していきます。

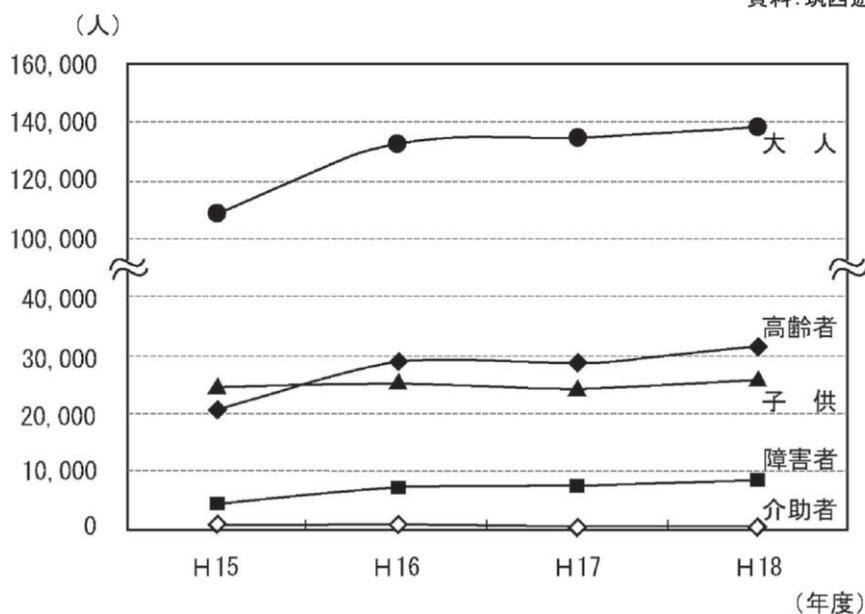
○健康増進施設としての役割を基本としながら、「ゆうゆまつり」をはじめとするイベントの企画・実施、周辺の河川施設や筑波山の眺望などのロケーションを活かした様々な楽しみの場、交流の場、いこいの場としての利用を推進します。

利用状況

単位：人

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
大人	108,635	132,876	134,761	138,486
高齢者	20,463	28,679	28,586	31,364
子供	24,322	24,939	24,130	25,664
障害者	4,486	7,363	7,723	8,745
介助者	839	976	731	833
合計	158,745	194,833	195,931	205,092

資料：筑西遊湯館



目標指標

目標項目	現況値 (平成15～18年度総数+19年度推計)	目標値 (平成20～24年度総数)
利用者数	965,601人	1,053,000人

## (2) 県西総合公園

- 茨城県との連携体制のもと、施設、設備の維持補修、必要な整備・拡張を推進し、広域圏の中心的運動施設としての機能の充実を図ります。
- 施設のバリアフリー化をはじめ、子供から高齢者まで誰もが安心・安全に利用できる環境の充実を図ります。
- 広域イベントの実施会場として、また、他の運動施設、健康づくり施設との連携のもと、スポーツイベントの企画、運営支援や健康学習、周辺の田園・農業環境を活かしたスポーツ、健康づくりなどの拠点として、ソフト事業の充実を図ります。
- 公園サポーターをはじめ、施設管理やソフト事業の企画運営などへの住民参加を促し、地域で支える、愛される施設として、利用の促進を図ります。
- 平成20年度新たに開設されるターゲット・バードゴルフ場について、競技の普及や利用情報の発信を積極的に行い、利用の促進を図ります。

### 利用状況

単位：人

区分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
テニスコート	29,492	29,378	30,867	29,533	30,229
体育室	9,152	8,350	8,418	8,364	8,990
多目的広場	5,556	7,968	10,254	7,864	8,578
会議室	2,836	2,057	2,601	3,497	3,391
ロッカー	77	85	90	82	94
シャワー	229	204	387	270	222
バーベキュー	5,919	6,178	5,466	5,329	4,967
その他の利用	166,430	169,060	187,270	215,906	245,680
合計	219,691	223,280	245,353	270,845	302,151

※ その他の利用：有料施設以外の利用に係る推計数値

資料：県西総合公園

### 目標指標

目標項目	現況値 (平成15～18年度総数+19年度推計)	目標値 (平成20～24年度総数)
来園者数	1,319,556人	1,607,000人

### (3) 環境センター

○関係3市との連携のもと、ごみの減量化、リサイクルの促進を図りつつ、施設の適切な維持・管理に努めます。また、し尿処理組合の再編等、合併・広域化を踏まえた体制の再編や最終処分場の適切な確保について引き続き検討していきます。

○小学校をはじめとする施設見学などとおして、ごみ処理やリサイクルに関する市民意識の高揚を図るなど、環境学習の拠点として機能の充実を図ります。

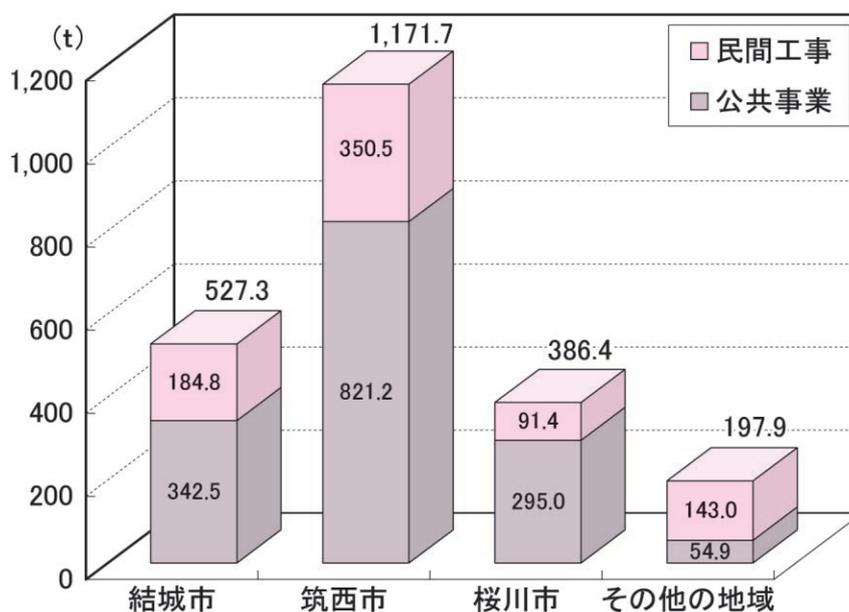
○焼却灰溶融スラグの利用促進をはじめとする焼却灰の再資源化に向けた研究の推進など、循環型社会を先導する施設としてその取り組みを広く発信していきます。

#### 視察・見学状況（平成18年度）

区分	行政視察	小学校	中学校	その他	合計
件数(件)	6	37	1	12	56
人数(人)	78	1,913	27	204	2,222

資料：環境センター

#### 溶融スラグの活用状況（平成18年度）



## (4) きぬ聖苑

○社会構造の変化に伴う葬儀、葬祭形態の変化や利用者のニーズに対応しつつ、電話予約システムの充実など利用しやすい環境の整備を図るとともに、施設及び設備の適切な維持管理に努めます。

○環境センター、筑西遊湯館など、本組合の施設が隣接する環境を踏まえ、周辺の緑化や駐車場等の整備など、快適な環境整備を一体的に推進します。

### 斎場使用状況

単位：件

区分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
式場	529	570	667	619	642
待合室	692	750	862	819	830
通夜室	228	208	272	232	277
霊安室	37	29	25	27	27
合計	1,486	1,557	1,826	1,697	1,776

資料：きぬ聖苑

### 火葬場使用状況

単位：件

区分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
圏域内	2,113	2,038	2,135	2,143	2,192
圏域外	15	25	27	22	45
合計	2,128	2,063	2,162	2,165	2,237

資料：きぬ聖苑

### きぬ聖苑



・斎場

## (5) 消防本部

○施設及び機器の適切な維持と拡充を図るとともに、高速救急隊の組織や消防分署の統廃合など、さらなる広域化に対応した組織の改編を推進し、圏域住民の安心・安全を守る体制の一層の充実を図ります。

○防災訓練の実施、救急救命に関する一般向け講習会や学校、事業所等への指導、イベントでの普及活動などをおして、圏域住民の防災意識の高揚を図るとともに、住民自らが取り組む防災対策の指導及び支援を関係3市と共に推進していきます。

## □消防車両等配置状況

平成19年4月1日現在

区分	消防本部	筑西消防署 (下館消防署)	関城分署	明野分署	協和分署	結城消防署	桜川消防署 (岩瀬消防署)	真壁分署 (真壁消防署)	大和分署
水槽付ポンプ車	1	1	1	1	1	2	1	1	1
普通ポンプ車		2				1	1	1	
梯子車		1				1			
化学車		1				1			
救助工作車		1				1			
救急車	2	2	1	1	1	2	1	1	1
指令車		1	1	1	1	1	1	1	1
水槽車		1							
搬送車		1							
照明車	1								
その他	3	3				1	1	1	
合計	7	14	3	3	3	10	5	5	3

資料：消防本部

## □教養訓練実施状況（平成18年度）

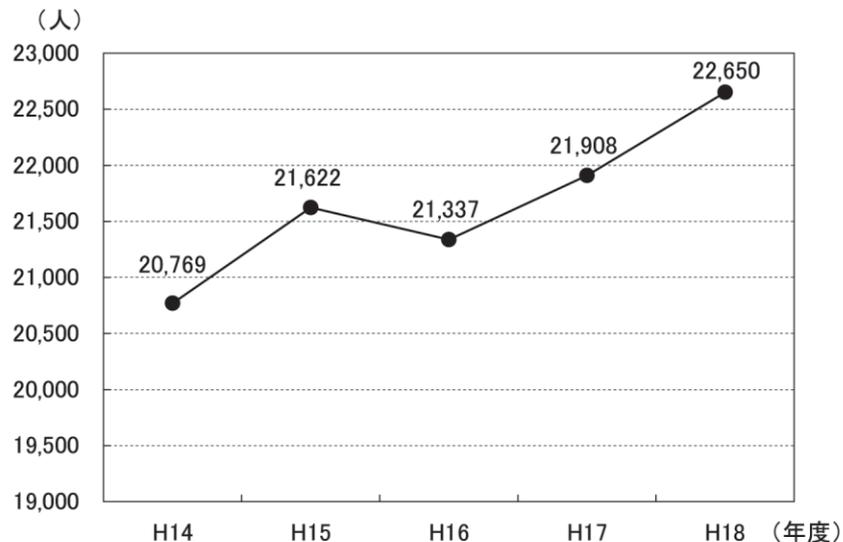
区分	救命講習会	職場教養	操法訓練	模擬火災訓練	体力訓練	救助訓練	署外訓練指導
消防本部	2						
筑西消防署(下館消防署)	30	361	12	106	32	129	78
関城分署	6	320	10	0	300	24	84
明野分署	8	316	10	18	268	17	29
協和分署	6	347	25	48	275	20	38
結城消防署	26	336	53	30	295	315	71
桜川消防署(岩瀬消防署)	14	312	10	24	295	22	105
真壁分署(真壁消防署)	6	354	0	1	312	21	0
大和分署	2	358	2	13	345	8	20
合計	100	2,704	122	240	2,122	556	425

資料：消防本部

## (6) 筑西地域職業訓練センター

- 高齢者や障害者の利用に配慮したバリアフリー化、老朽化への対応など施設の適切な維持管理に努めます。
- 再就職やスキルアップを目指す人を支援する職業訓練講座をはじめ、陶芸や地場産業講座、美術・芸術等のカルチャー講座、出前講座など、誰もが楽しく学び、能力を高める教科の充実を図ります。
- 上野沼に隣接するロケーションを最大限に活かし、宿泊や体験学習など、学び、憩い、ふれあえる広域圏の新たな学習・交流拠点としての機能の強化を検討、推進し、その情報を広く発信していきます。

### 利用状況



### 利用内訳・主な事業 (平成18年度)

利用状況 (種別)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○官公庁 30%</li> <li>○民間(企業等) 50%</li> <li>○その他(子供会、ボーイスカウト等) 20%</li> </ul>
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共職業訓練 (年4回)</li> <li>OA講座 (年10講座 各3日)</li> </ul>

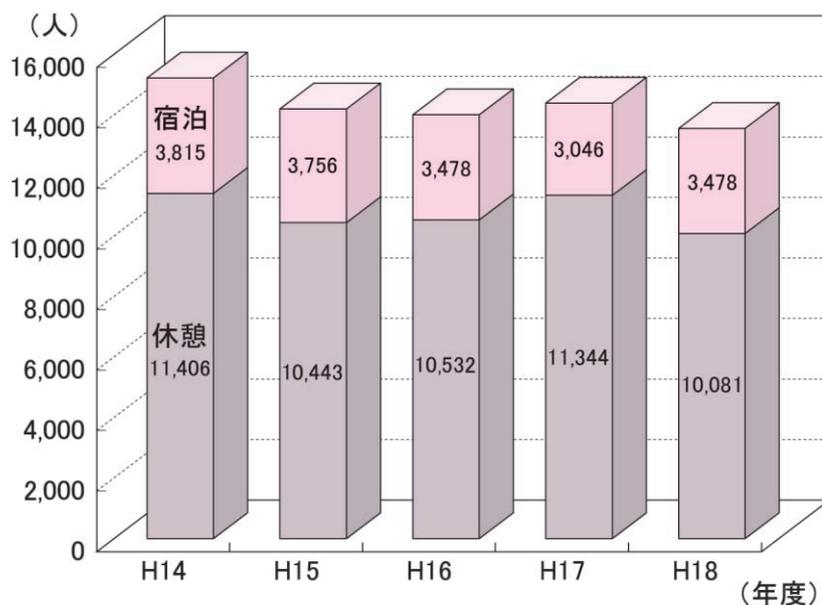
資料:筑西地域職業訓練センター

## (7) 福祉センター あまびき（老人福祉施設等）

○「老人福祉施設等維持管理検討委員会」のもと、施設の老朽化への対応や新たな利用促進策等について継続的に検討していきます。

○筑西広域圏東部の緑豊かな森林地域、「関東ふれあいの道」や「つくばりんりんロード」を介した広域観光の拠点的位置づけ、「雨引観音」や「真壁の蔵の町並み」、「雨引の里と彫刻」などの芸術文化性の高い風土を持つロケーション、位置的な特性を踏まえるとともに、田園や農の恵みなどの周辺地域との関わりを大切にしながら、施設の利活用について、関係3市、団体、企業をはじめ住民や様々な人の参画のもとに研究・検討していきます。

### 利用状況



### 福祉センター あまびき



## 第6章

# 施策の推進に向けて

### 1. 施策の推進

基本計画は、基本構想の理念と将来像を踏まえ、施策の大綱に基づく各部門の施策の実施方向を示したものであり、関係3市の協働を基本とする効率的・効果的事業を前提に、圏域住民へのサービスの向上を目指すものです。

個別施策の推進に向けては、国、県の関連計画、各市総合計画、さらに関係3市で進める部門別施策との整合、調整を図りながら、実施計画等で事業内容を明らかにし、効果的な実施に努めていきます。

また、関係3市が取り組む重点施策や新たなプロジェクトなどについては、その円滑な実施と本圏域への効果的な波及を期して、関係3市との十分な協議・調整を図ります。

### 2. 広域行政の一層の推進

広域的交通網の整備や加速的な情報の高度化により、圏域住民の生活圏はますます広域化し、ニーズも多様化かつ高度化しつつあります。一方、人口減少や少子高齢化社会の中にあって地方財政は依然厳しい状況にあり、こうした社会情勢を背景に、関係3市の行政を効果的に補完していく広域行政の重要性は、さらに増していくことが予想されます。

地方分権が推進され、人口集積、産業振興、観光レクリエーションなど様々な分野での都市間競争がますます激しくなる今日、いきいきとした都市活動を喚起し、広域圏の一体的な力を高めていくことがますます重要になっています。

このため、関係3市と本組合が相互の役割を充分認識し、協力、協調しながら、農業を基調とする産業振興や誇れる自然・歴史・文化など、本圏域の特性を充分活かした魅力ある圏域づくりを共通の目的として、より広域的な視点に立った施策を計画的に推進していきます。

また、国、県との一層の連携や民間活力の導入など、行財政改革を視野に入れつつ、事務事業の効率化や重点化など、健全な財政運営や財源の確保に努めるとともに、調整機能を強化し、広域行政の一層の推進を図ります。

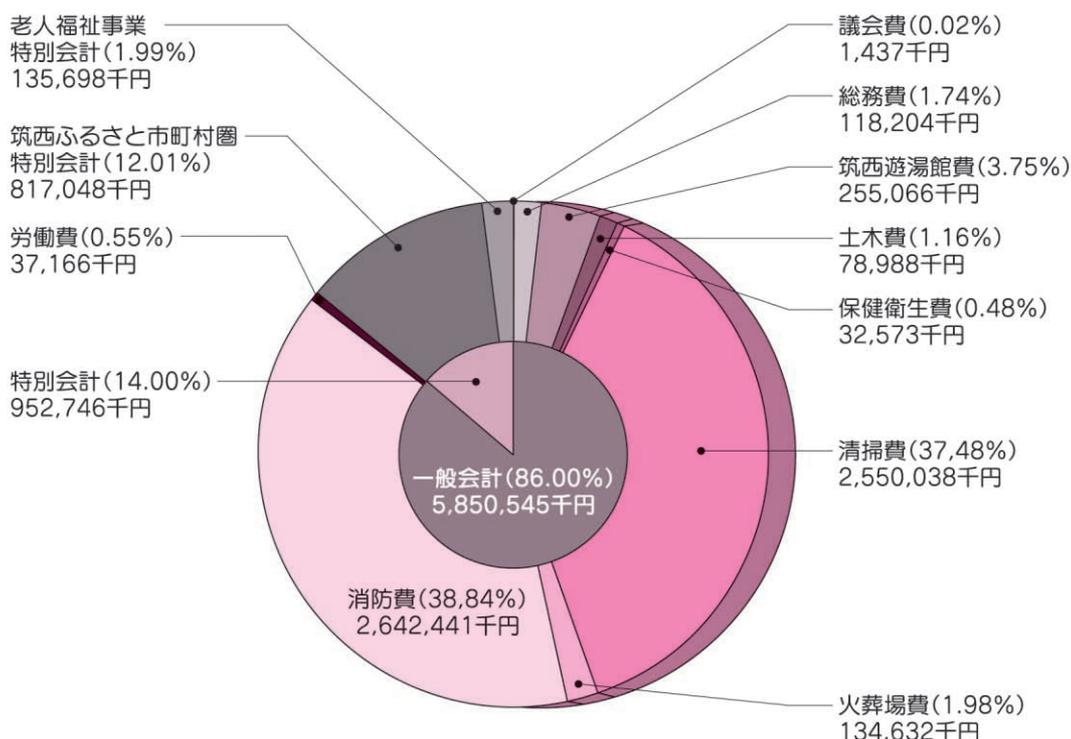
□施設別決算状況

単位:千円

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度
費 目	支出の対象			
議 会 費	組合議員報酬 議会運営等	1,700	1,606	1,437
総 務 費	組合事務局の運営 組合全般	113,878	110,310	118,204
筑西遊湯館費	筑西遊湯館の運営	158,715	172,200	255,066
土 木 費	県西総合公園の運営	80,909	80,293	78,988
保 健 衛 生 費	小児救急医療事業 病院群輪番制事業		32,573	32,573
清 掃 費	環境センターの運営 ごみ処理、し尿処理	2,366,137	2,396,103	2,550,038
火 葬 場 費	きぬ聖苑の運営	130,978	131,780	134,632
消 防 費	消防業務、救急業務	2,603,582	2,620,499	2,642,441
労 働 費	筑西地域職業訓練 センターの運営	31,605	34,039	37,166
小 計		5,487,504	5,579,403	5,850,545
特別会計	筑西ふるさと市町村 圏特別会計	16,538	14,203	817,048
特別会計	老人福祉事業 特別会計	116,864	148,147	135,698
総 計		5,620,906	5,741,753	6,803,291

資料: 筑西広域市町村圏事務組合

(平成18年度決算状況)



## 第7章

## ふるさと市町村圏事業

## ■現況と課題■

筑西ふるさと市町村圏基金については、平成元年度当時本圏域を構成していた8市町村からの出資及び茨城県補助金による造成以降、現在も関係3市の協力のもと、効果的な運用に努めながら、広域イベントや広報活動等のソフト事業に運用益を活用しています。

平成19年度現在、基金総額は2億円となっておりますが、近年低金利の状況が続いており、今後も、基金の維持と効果的な運用に努めながら、既存事業の継続的な実施を基本に事業資金の確保を図っていく必要があります。

また、多様化・高度化する圏域住民のニーズの把握に努めながら、新たな事業への転換、増資なども視野に入れつつ、より効果的な運用のあり方について積極的に研究、検討していく必要があります。

## ■基本目標■

- 筑西ふるさと市町村圏基金の維持と健全な運用を基本に、持続的かつ効果的に事業を推進します。

## ■施策の方向■

## 1. 筑西ふるさと市町村圏基金運用

金融政策や景気の動向等、社会経済状況を的確に判断し、基金の維持と効果的な運用を研究、検討します。

## 2. ふるさと市町村圏事業方針

圏域住民のニーズを的確にとらえ、かつ全体的な視点から既存事業の内容を検証し、持続的かつ効果的な事業を推進します。

## 3. ふるさと市町村圏事業計画

具体的なソフト事業は実施計画で定め、要綱に基づき平成20年度から毎年度ローリング方式で見直しを行います。

- (1) 多くの住民、団体の協力のもと、広域イベントの充実を図ります。
- (2) 筑西広域市町村圏事務組合の事業、活動内容を広く発信していくとともに、圏域住民との意見交換の場として、広報紙「ちくせい」、本組合ホームページの充実を図ります。
- (3) 地域における交流事業や特色ある催しなどを広域圏における魅力ある交流イベントとして支援し、広く情報を発信していきます。